

この資料は、桜井悌司（日本展示会協会事務局長）が、関西外国語大学時代に JICA の要請によって、ラオス国商工省貿易生産局の職員対象に「展示会の組織・参加の方法」につき短期専門家として指導した際に、テキストとして作成したものである。英語版もご参照ください。

2015年11月2日
日展協事務局

タイムスケジュール表・工程表の作り方

2009年8月
関西外国語大学
桜井悌司

国際見本市への参加の場合や、海外で単独見本市を開催する場合、参加業務のタイムスケジュール表・工程表を作成しなければならない。

工程表をつくるメリットは多数ある。以下列挙しよう。

- 1) 海外見本市に参加する場合、多くの異なる準備作業があるので、全体を調整しながら、作業を段取り良く進めていくことが必須となる。それによって無理や無駄を省き時間を節約することができる。
- 2) 工程表に従って作業を進めることによって、作業の遅れを回避することができる。作業通りに進むと余分の経費の発生がなくなる。とりわけ国際博覧会や万国博覧会では、工程管理どおりに作業を進めないと大きなコスト負担が生ずることになる。なぜなら博覧会の場合は、1回限りのイベントなので、現地の業者はできるだけ儲けようと躍起になるからである。勢い各国の建築、装飾、アテンダント雇用、清掃・警備が重なることになるので、着々と作業を進めることができた国は、比較的成本をやすく切り上げられるが、遅れた国は、地元の業者から高い価格を吹っかけられるからである。
- 3) 工程表をチーム全員が共有することによって、チーム・ワークが生じるし、ひいては、人材育成に役立つ。

主要業務の分類

組織によって作業の進め方は異なるが、大枠として次のような分類が考えられよう。

- 1) 見本市の参加コンセプトの決定
- 2) 見本市参加手続き
- 3) 出品勧誘、出品者とのやり取り

- 4) 展示装飾
- 5) 通関輸送
- 6) 現地業務
- 7) 広報・来場者誘致
- 8) 事後処理参加展示会の選定

これらの大まかな主要業務をさらに細分化して、月単位のスケジュール表に埋めていくのである。最初に重要なポイントについてふれる。

- 1) 有力な国際見本市に参加し、ナショナル・パビリオンを組織する場合は、遅くとも1年半くらい前から準備を進めていくべきであろう。
- 2) なぜなら、対象となる市場、対象となる商品、対象となる見本市、出品者誘致見込み、想定される予算規模等を検討する必要があるからだ。また組織内の調整や監督官庁との打ち合わせなども想定される。

別添の2つの工程表は、ナショナル・パビリオンを構成するTPO（貿易振興機関）が準備すべき工程表をジェトロの経験に基づき、参考までに作成したものである。見本市開催国や各TPOの事情を鑑み作成する必要があることは言うまでもない。

- 1) 見本市の参加コンセプトの決定
見本市の参加コンセプトは、1年から1年半前に決定することが望ましい。国内企業のニーズ、対象とする市場、選択すべき国際見本市はかなり前から考えておくべきだし、
- 2) 見本市参加手続き
ここでは、参加に伴う内部手続き、スペース予約など見本市オーガナイザー等との交渉など
- 3) 出品勧誘、出品者とのやり取り
出品勧誘、出品者等との連絡業務など
- 4) 展示装飾
参加に当たっての企業ブース、TPOブースなどのデザイン、施工に関係することすべて
- 5) 通関輸送
見本市貨物、展示資材、パンフレット等展示会出品に係る物の輸送・通関業務にかかわること全般
- 6) 現地業務
現地事務局を運営する上で必要な業務全般
- 7) 広報・来場者誘致

ナショナル・パビリオンに来場者を誘致するためのあらゆる方策と実行

8) 事後処理参加展示会の選定

見本市終了後の事務手続き、経理、還送等

以 上